

STAND UP TAKE ACTION 2012@西南

講師にノンフィクション作家石井光太氏を迎え、世界の貧困を伝えるイベントを開催！！

貧困をなくすために“立ち上がる”世界的キャンペーン

世界の貧困の現状を伝えるイベント「STAND UP TAKE ACTION 2012@西南」を開催します。

貧困をなくすために“立ち上がる”世界的キャンペーン「STAND UP TAKE ACTION」とは？

2000年に189か国のリーダーたちはミレニアム開発目標(MDGs)に合意しました。これは2015年の期限までに「世界の貧困を半減する」など具体的な8つの目標達成を目指すものです。しかし、この目標を世界全体で達成するのはまだまだ難しいというのが現状です。この状況を変えるためには、わたしたちが各国のリーダーたちに働きかけをしていく必要があります。そこで「STAND UP TAKE ACTION」は、世界各地で貧困解決を求める意思を示すために「立ち上がり」(STAND UP)、「行動する」(TAKE ACTION)ことを呼びかけます。そして、その様子を収めた写真を集めて一つの「声」をつくり、リーダーたちに届けます。



イベント概要

テーマ「貧困の中の子どもたち」

【日時】10月10日(水)

13:30~17:00

【会場】

西南学院大学チャペル

【内容】

- ① 上映会『アリ地獄のような街』(80分)
- ② 講演会 石井光太氏『メディアが見ようとしない貧困の子どもたち』(60分+質疑応答)
- ③ STAND UP および写真撮影



↑ 昨年の様子

同時開催

10月1日~10月19日までの間、図書館にて、石井光太氏の写真展をおこないます。こちらにも是非おこし下さい。

【参加資格】

学内・学外問わずどなたでも構いません。

【参加費】

入場無料

【目的】

- ◆ 各国のリーダーたちに貧困撲滅の意思を示す。
- ◆ イベントを通して参加者に世界の貧困の現状を知ってもらい、貧困をなくすために行動するきっかけとなること。

【主催】

西南学院大学法学部、図書館（国連寄託図書館）

参加者九州ナンバーワン！

昨年、西南に集まったのは305人！
これは九州の参加者の3分の1を占めました！！

上映する映画・講演者の紹介

<映画>

作品名：アリ地獄のような街

制作年：2009年8月20日

制作国：バングラデシュ

時間：79分

監督：シュボシシュ・ロイ

一あらずじー



農村での生活を捨て、生き延びるための僅かなお金を握りしめ、大都会ダッカへ足を踏み入れた少年ラジュ。そこでラジュはダッカの路上で暮らすストリートチルドレンなどと知り合っていく、彼らの元締めであるイアシンという男のもとに連れて行かれる。イアシンはダッカの暗闇を象徴するような男であり、子ども達を使って様々な違法な商売に参与している。ラジュも自分がしている悪事に気づかないまま、イアシンの手先になっていってしまう。一方、路上に捨てられた少女ククもイアシンの餌食となり、ダッカの闇の生活に落ちていってしまう。

この物語は、蟻地獄のように引き寄せられ、決して逃れることのできない、ダッカの現実の姿を描いた映画である。(公式HP：<http://www.arigoku.net/>より)

<講演者>

【名前】石井光太（いしいこうた）

【生年月日】1977年2月 東京都世田谷区出身

【学歴】日本大学芸術文藝学科卒業

【主な作品】『物乞う仏陀』（文藝春秋）

『絶対貧困—世界最貧民の目線』（光文社） など多数



2012年8月19日放送の毎日放送（MBS）『情熱大陸』出演！！

お問合せ先： 図書情報課 八尋(やひろ)
E-mail: lib-srv@seinan-gu.ac.jp